

調布教会創立79周年記念礼拝

2025年9月7日 10時20分～

司式:

奏楽:

＜神の招き＞

前奏	『神はわが砦(讃美歌377番)』	J.G. ヴァルター
招詞	列王記上9章3節c、d	
賛美歌	8	

＜神の言葉＞

祈書	聖霊の照らしを求める祈り	
	ハバクク書3章17～19節	(旧約1446頁)
	ローマの信徒への手紙8章18～25節	(新約279頁)

子ども説教		
交読詩編	詩編90編1～12節	(108頁)
賛美歌	387	
説教	「将来のために」	八木浩史牧師
祈書		
賛美歌	480	

＜感謝の応答＞

信仰告白	使徒信条	
献金		献金当番
祈書		
主の祈り	(週報表紙、ホームページ掲載)	
聖餐	78 配餐:	

＜派遣＞

頌栄	24
祝福	
報告	9月誕生者祝福
後奏	

原田牧師・樋口牧師時代の調布教会

1934年(昭和9年)、原田季夫牧師・早苗夫人の夫妻が結婚後に住んだ建物が調布伝道所として伝道を開始。1941年(昭和16年)に原田牧師は代々木初台教会(後に松原に移り、松原教会と改称)に転任。調布伝道所は角伝道師が担任するが、軍に召集され戦死。松原教会も原田牧師が応召の為、不在の間に戦災で会堂が全焼する。復員した原田牧師により調布伝道所と松原教会は合併し、日本基督教団調布教会を設立した。こうして1946年(昭和21年)9月第一主日に新たな出発をした日が、調布教会創立記念日として定められている。

1958年(昭和33年)3月に原田牧師は瀬戸内海・長島のハンセン病患者の施設「長島愛生園」で、ハンセン病患者のために献身する牧師養成神学校開設のため、当教会を辞した。同年4月に長野県・伊那教会を担任していた樋口真牧師が着任。牧師の家族は、かな夫人と中高生男子3人の5人であった。原田牧師離任の頃から教勢が増加し、当時の礼拝堂では手狭になっていた。そこで「50人が共に礼拝できる礼拝堂」がある会堂建設について祈りがささげられていた。会堂建設のために手芸品によるバザーを開催し、牧師夫人は手芸の賜物を活かし、婦人会も手作り品でバザーを盛り上げていた。それらの奉仕により、1966年(昭和41年)に新会堂が建設された。1967年(昭和42年)10月に、樋口牧師は辞任し、新潟県・新井教会へ転任した。

調布教会には、同年12月に柴山 榮牧師が着任した。

礼拝当番: (役員:) 献金当番:
音響: 映像: